

セルロースアセテート膜電気泳動法と高感度銀染色液を用いた腎障害部位分類法



氏 名 久保田 亮 准教授

所属 健康開発学科 検査技術科学専攻

U R L <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=234kubo>

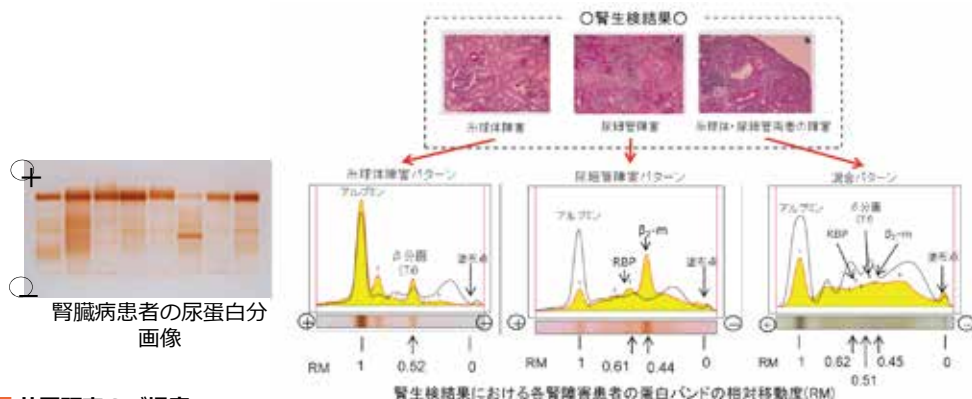
研究分野 予防医学検査、食品検査に関する研究

キーワード セルロースアセテート膜 電気泳動法 腎障害 尿蛋白

■ 研究シーズの概要

患者尿をセルロースアセテート膜に塗布し電気泳動を行い、専用の銀染色液で染色後、尿蛋白分画（右図）を行う。この分画像を尿蛋白病態解析ソフトウェアで解析することで、下図のように腎障害部位を分類でき、腎臓病の診断の補助になると考える。また本法は腎生検[※]結果と良好な一致率が得られている。

*) 腎生検とは腎臓を細い針で刺して、一部組織を取ってくる検査



共同研究のご提案

腎疾患早期発見のための全自動セルロースアセテート膜電気泳動装置の開発

■ アピールポイント

下記に示した様々な研究テーマでも産業支援を行っております。

- ・発光検出によるイムノクロマト法に関する研究
- ・電気泳動法を用いたリポ蛋白質分類法に関する研究
- ・オゾンジェルを用いたう蝕、歯周病予防に関する研究
- ・健康食品（サプリメント）の成分分析に関する研究 など

上記研究テーマ以外でも、お気軽にご相談ください